

こんにちは

魚沼市議会 です



令和2年第3回定例会 No.70



「未来を守ろう」湯之谷中学校 3年 富永萌生さん

CONTENTS

定例会・補正予算・議案賛否の状況 … 2～3	一般質問 …… 10～15
令和元年度会計決算 …… 4～5	常任・特別委員会報告 …… 16～18
令和元年度会計決算審査特別委員会報告… 6～8	議会報告会 …… 19
聞かせて！あなたの声「Voice」 …… 9	市民の声・わが校自慢・議会報告会案内 … 20

〈発行責任者 議長 遠藤 徳一〉 広報編集特別委員長 富永 三千敏 副委員長 星野 みゆき
委員 浅井 宏昭 大桃 俊彦 渡辺 一美 関 矢 孝夫

第3回定例会報告

令和2年第3回（9月）定例会が、9月3日から10月2日までの30日間の会期で開催されました。

定例会2日目に、インフルエンザ予防接種補助金・プレミアム商品券補助金などを含む18億5,600万円を増額する一般会計補正予算（第5号）をはじめ4件の補正予算を可決しました。

一般質問は、9月8、9日の2日間にわたり、12人の議員が登壇しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、通常60分の持ち時間を40分に短縮し、市政に関して質問しました。

令和元年度決算の認定については、決算審査特別委員会を設置し、9月23、24、25日の3日間で審査しました。

「魚沼須原スキー場並びに市内スキー場の持続可能な運営を求める」請願は、産業建設委員会で継続審査としました。

最終日は、継続審査となっていた「種苗法一部改正案の撤回を求める」請願を不採択とし、市長提出議案をすべて可決及び認定しました。

※議案賛否の状況は3ページをご覧ください。

第3回定例会補正予算

		補正前の額	補正額	計	主 な 内 容
一般会計（第5号）		325億6,710万円	18億5,600万円	344億2,310万円	歳入：前年度繰越金、普通交付税、臨時財政対策債の確定に伴う追加、ふるさと結寄附金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など事業実施に伴う国・県補助金等の追加など 歳出：プレミアム付商品券事業、インフルエンザ予防接種費用助成など新型コロナウイルス感染症対策関連経費、前年度繰越金の確定に伴う財政調整基金、ふるさと結基金への積立金の追加など
介護保険特別会計（第1号）		52億3,200万円	6,760万円	52億9,960万円	歳入：前年度決算に伴う前年度繰越金の追加や、介護給付費負担金など国・県の交付金の追加、介護給付費準備基金繰入金の減額 歳出：前年度事業の確定に伴う国・県・支払基金への給付費負担金等の返還金の追加や財源の調整
ガス事業会計（第1号）	資本的支出	1億6,300万円	600万円	1億6,900万円	河川改修に伴うガス管橋移設に係る工事費の追加
水道事業会計（第2号）	収益的支出	9億1,240万円	60万円	9億1,300万円	新型コロナウイルス感染症対策関連経費の追加
	資本的支出	6億6,000万円	2,760万円	6億8,760万円	浄水場等施設設備更新や河川改修に伴う水道管橋移設に係る工事費の追加など

意見書を国へ提出しました

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書」

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面しています。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっています。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政

不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されます。

よって、国における令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、9月定例会の本会議において可決した「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を地方自治法第99条の規定に基づき、国へ提出しました。



第3回定例会議案等

◎=全会一致 ○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任 ×=否決・不採択・不承認

議案番号等	付議事件	議決結果
決算	議案第66号 令和元年度魚沼市一般会計決算の認定について	○
	議案第67号 令和元年度魚沼市国民健康保険特別会計決算の認定について	○
	議案第68号 令和元年度魚沼市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○
	議案第69号 令和元年度魚沼市介護保険特別会計決算の認定について	○
	議案第70号 令和元年度魚沼市工業団地造成事業特別会計決算の認定について	◎
	議案第71号 令和元年度魚沼市病院事業会計決算の認定について	○
	議案第72号 令和元年度魚沼市ガス事業会計決算の認定について	○
	議案第74号 令和元年度魚沼市下水道事業会計決算の認定について	○
予算	議案第75号 令和2年度魚沼市一般会計補正予算（第5号）	◎
	議案第76号 令和2年度魚沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）	◎
	議案第77号 令和2年度魚沼市ガス事業会計補正予算（第1号）	◎
	議案第78号 令和2年度魚沼市下水道事業会計補正予算（第2号）	◎

議案番号等	付議事件	議決結果
条例	議案第79号 魚沼市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について（新型コロナウイルス感染症に対処するための市職員手当の特例を規定するため、所要の改正を行うもの）	◎
	議案第80号 魚沼市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正について（18歳到達年度末までの子供の医療費に係る自己負担額的全額を助成するため、所要の改正を行うもの）	◎
	議案第81号 魚沼市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について（ひとり親家庭等における、18歳到達年度末までの子供の医療費に係る自己負担額的全額を助成するため、所要の改正を行うもの）	◎
	議案第82号 魚沼市ふるさと回帰育英奨学金貸与条例の制定について（魚沼市ふるさと回帰育英基金条例に基づく基金を活用した、就学のための学資の貸与を行うための条例を制定するもの）	◎
	議案第83号 魚沼市税条例の一部改正について（地方税法等の改正による市民税及びたばこ税等の規定の整理に伴い、所要の改正を行うもの）	◎
	議案第84号 魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について（土地基本法の改正による長期譲渡所得に係る課税の特例の追加に伴い、所要の改正を行うもの）	◎
	議案第85号 魚沼市重度心身障害者医療費助成条例の一部改正について（20歳未満の受給資格者の医療費に係る自己負担額的全額を助成するため、所要の改正を行うもの）	◎
	議案第86号 魚沼市工場等誘致条例の一部改正について（固定資産税の課税免除に係る普通交付税の減収補填基準と整合を図るため、所要の改正を行うもの）	◎
請願第2号	種苗法一部改正案の撤回を求める請願書	×
議案発議第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	◎

議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載

○=賛成 ●=反対 △=棄権 欠=欠席 - =除斥 ※=議長は議決に加わりません。

議案番号等	議決結果	合計		しんせいクラブ			魚沼輝成会			日本共産党		みらいの風		緑晴会			会派所属なし					
		賛成	反対	関矢孝夫	富永三千敏	渡辺一美	志田貢	星直樹	本田篤	森山英敏	大屋角政	大平恭児	大桃俊彦	浅井宏昭	星野みゆき	森島守人	佐藤敏雄	佐藤肇	岡部計夫	大桃聡	高野甲子雄	大平栄治
議案第66号	認定	14	5	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	※
議案第67号	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第68号	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第69号	認定	16	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第71号	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第72号	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第73号	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第74号	認定	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
請願第2号	不採択	3	16	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	※

令和元年度会計 決算審査



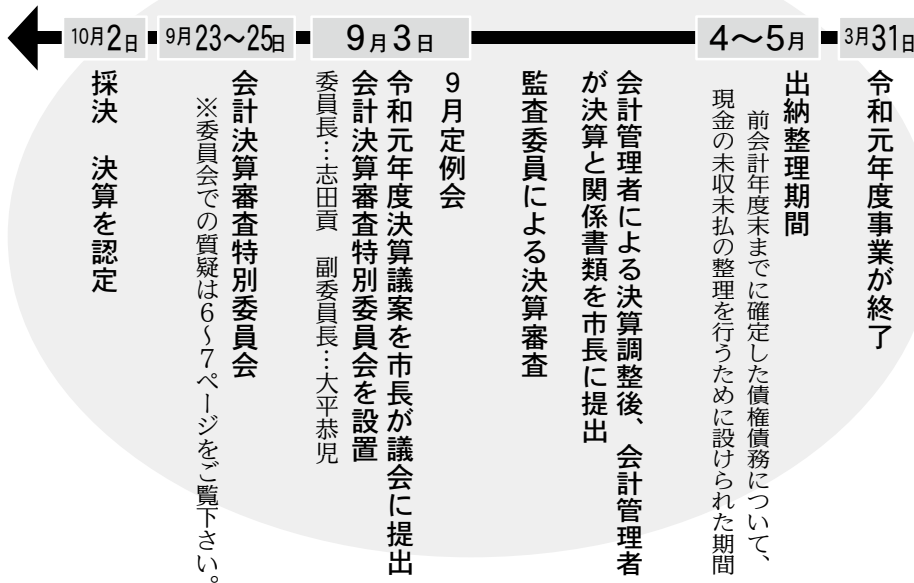
どういかにされた？ 私たちのお金
議会が厳しくチェック！

9月議会は前年度決算について審議するため「決算議会」とも言われています。議会では、決算審査特別委員会を設置し、令和元年度決算について審査を行いました。

9月定例会では、「会計決算審査特別委員会（志田貢委員長）」を設置し、9月23日～25日の3日間にわたり、市長や教育長、各担当部長などの出席を求め、令和元年度決算について審査を行いました。

委員会では、一般会計と4つの特別会計及び4つの企業会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか、また、新年度予算にどうかすか、慎重に審議を行いました。その結果、その内容を適正なものと認め、いずれの会計決算も認定しました。

「決算審査」のながれ



ここが知りたい！魚沼市の財政状況

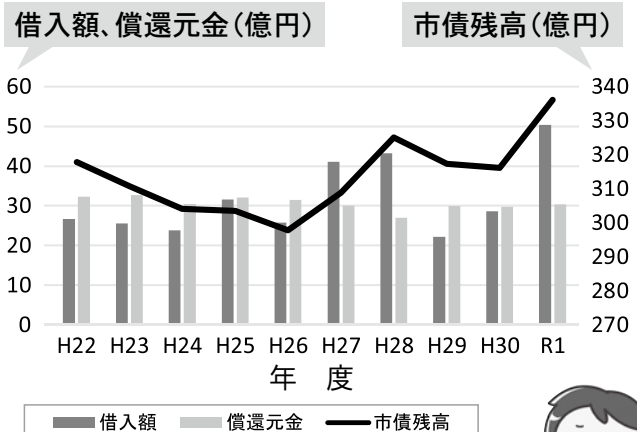
～市債の借入・償還と残高の推移～



新庁舎建設に係る市債の償還が本格的に始まると、公債費負担比率及び実質公債費比率は一時的に上昇し、令和8年度頃までには高止まりする見込みです。

平成21年度末から令和元年度末までの10年間で、市債残高は14億6,000万円（4.5%）増加しています。

令和元年度は、庁舎再編整備事業の完了により、借入額が償還元金を大きく上回っています[※]が、将来負担比率34.0%と良好状態を維持しているため、財政的な影響は少ないと思われる。しかしながら、今後の事業を考慮しながら市債の借入や管理が望まれます。



魚沼市の借金はどのくらいあるの？
将来、きちんと返せるあてはあるのかな…？

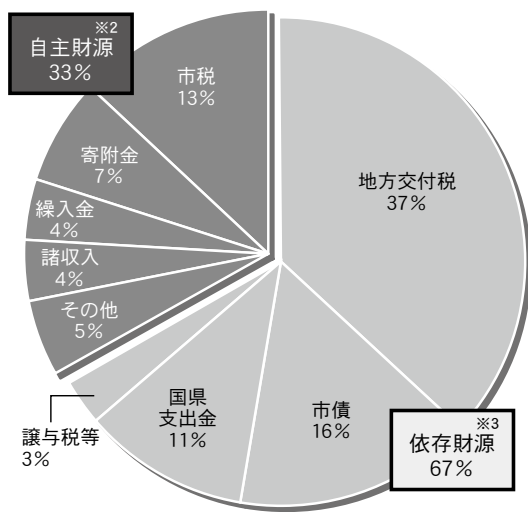




令和元年度決算をチェック！ お金の使い方を確認しました

一般会計

歳入 312億4,024万3千円

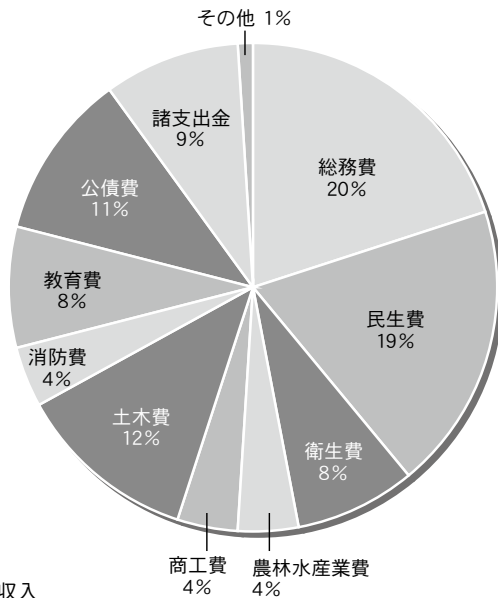


※2 市が自ら徴収する収入

市税、分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入

※3 国や県から来るお金、借入金

歳出 304億6,155万9千円



特別会計・企業会計

【特別会計】

	歳入(収入)	歳出(支出)	差引
国民健康保険	33億4,893万6千円	33億1,396万8千円	3,496万8千円
直営診療所施設勘定	9,878万4千円	9,847万7千円	30万7千円
後期高齢者医療	8億2,665万2千円	8億2,010万6千円	654万6千円
介護保険	50億7,990万3千円	49億6,807万3千円	1億1,183万円
工業団地造成事業	1,684万円	1,510万1千円	173万9千円

【企業会計】

	歳入(収入)	歳出(支出)	差引
病院事業	収益的収支	8億3,545万4千円	8億9,015万9千円 ▲5,470万5千円
	資本的収支	3億2,721万1千円	3億4,606万5千円 ▲1,885万4千円
ガス事業	収益的収支	14億5,237万5千円	13億2,941万円 7,582万5千円
	資本的収支	875万6千円	3億6,630万2千円 ▲3億5,754万6千円
水道事業	収益的収支	8億9,911万円	8億1,221万3千円 8,689万7千円
	資本的収支	1億9,291万9千円	5億4,503万4千円 ▲3億5,211万5千円
下水道事業	収益的収支	24億6,434万5千円	22億5,522万6千円 2億911万9千円
	資本的収支	6億4,469万3千円	14億9,199万8千円 ▲8億4,730万5千円

差引

7億7,868万4千円

※1 将来負担比率とは

借入金(市債)や将来支払っていく可能性のある負担額等の現時点での残高の程度を財政規模に対する割合で示します。将来負担に対し、その財源とすることが見込める基金や交付税措置見込額などを控除して算定します。

数値が大きいくほど、今後の財政を圧迫する可能性が高いことを表します。魚沼市の将来負担比率の指数は、平成30年度決算時は26.8%で、令和元年度決算時は34.0%でした。

※参考【県内の平成30年度決算の将来負担比率】

(単位:%)

1	柏崎市	1.8	6	小千谷市	69.3
2	妙高市	3.8	7	上越市	85.2
3	魚沼市	26.8	8	糸魚川市	86.0
4	新発田市	66.6	9	五泉市	94.1
5	長岡市	68.1	10	三条市	111.6

平成30年度の県内20市の平均指数は96.8%で、魚沼市は3番目に小さく、健全財政を維持していると言えます。(早期健全化基準となる将来負担比率は350%です。)

令和元年度決算書・決算資料は
市ホームページで公開しています



決算審査

特別委員会での

Q & A



志田貢委員長

総括

問 新庁舎の建設事業費はいくらか。

答 建設工事費は約29億9千万円。調査設計業務委託や備品購入費等を合わせると約34億円である。

問 コロナ禍において、指定管理施設に対して補正予算を計上し、運営費の補填をした。こうした事態を想定した事項を各指定管理者との協定書に記載しているか。

答 災害など市が想定する主なリスクについては、リスク分担に関する基本的な考えを基本協定の中で定めている。

問 高すぎる職員給与費を下げないか。

答 県人事委員会の調査結果に基づく勧告に準拠した条例によるものであり、市独自の支

給要件の検討は考えていない。

歳入

ふるさと寄附金
21億914万円

問 ふるさと結寄附金が昨年度比2・6倍に増えた要因は何か。

答 昨年6月にふるさと納税指定制度が創設され、寄附が分散し、人気の特産品を揃える本市に寄附が増えたこと、また、返礼品に米の定期便を取り揃える等寄附者のニーズをつかんだことが要因と分析している。

総務費

ケーブルテレビ運営事業
3,348万円

問 ケーブルテレビの加入率はどうか。

答 加入率は、令和2年3月末現在で47・1%である。

民生費

防犯対策事業
652万円

問 防犯カメラを設置してからの通報と犯罪の件数はどうか。

答 11台のカメラを設置した。警察からの照会件数は、これまで4件あり、その内、犯罪と認知されたものは2件あった。今後も犯罪の未然防止、抑止効果向上のため運用を進める。

民生委員活動事業

1,353万円

問 民生委員の欠員地区が6カ所あるがその要因は何か。

答 全国的に民生委員のなり手不足が顕著な状況にあり、本市においても課題となっている。地域内における隣人同士の希薄化や民生委員活動が不明確なことなどが要因として挙げられる。

衛生費

環境衛生管理事業
392万円

問 不法投棄の大型ごみ廃棄物が急増したがその要因は何か。



● ごみ処理事業・ごみ収集事業 5億8,965万円

ごみ処理施設の適正な維持管理、収集計画に沿った家庭ごみの収集等を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の維持が図られました。



● ふるさと結基金事業 9億9,723万円

地場産品などの返礼品代及び送料、また、民間事業者によるふるさと納税ポータルサイトの委託料などに使われました。



● 庁舎再編整備事業 27億7,775万円

平成30年度から2か年の継続事業として発注し、工期内に工事が完了し、令和2年5月7日に開庁しました。

答

不法投棄物は、タイヤ、テレビ、冷蔵庫等リサイクル料金も含めて処分料が必要な物が多い状況にあり、経済的な負担を負いたくないことが背景にあると推察する。

自然環境保全事業

299万円

問

鳥獣の捕獲許可数に比べ捕獲できた数はわずかである。人身被害対策に何をしたか。

答

人身被害対策として、自治会、警察署、鳥獣保護管理員と連携を図り、被害予防の注意喚起と共に、駆除や追い払いの対応を行った。

ごみ収集事業

1億4,618万円

問

いまだに戸別収集を行っている地区に対して指導は行ったか。

答

助成制度の案内のほか、「ごみステーション」及び「折りたたみ移動式ごみ収集ボックス」の収集施設の設置について粘り強く呼びかけていく。

商工費

新規起業支援事業

247万円

問

起業した方の職種や人数はどうか。

答

起業支援として行った「創業塾」の参加者は11名。美容業、整体業、建設業等で起業に向けた検討を行い、最終的に3名が補助金を利用して起業した。

土木費

住宅リフォーム支援事業

4,788万円

問

下限額、申請期間の拡充を求める声も聞かすが、見直しの検討の考えはあるか。

答

これまでの申請者との不公平が生じないような慎重な対応が必要と考える。利用しやすい事業となるよう今後検討したい。

消防費

防災行政無線等管理事業

1,377万円

問

防災行政無線の不感地区の解消の目途はいつ頃か。

答

地域要望やハザードマップ上の危険地域等に基づいて

現地調査を行い、子局の増設箇所を調整を行っている。全地区解消にはある程度の期間を要するが、早期解消に向け、業務を進めている。

防災対策事業

2,167万円

問

防災士の組織化の計画は進んだのか。

答

市内防災士の連携や技術向上を図るため、令和2年度中の体制整備に向けて準備を進めている。

教育費

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

244万円

問

メール配信システムの登録率が伸びない理由、また、100%にする策はあるか。

答

令和元年度末で登録率は95%である。少数ではあるが、手続自体を面倒と思う方、あるいはメールアドレスが変更となり変更手続きを忘れている方がいると思われる。市としても、学校を通じて保護者に対して周知を図りたい。

令和元年度 主な事業

令和元年度で新庁舎建設が完了したことにより、新規の施設建設事業は一区切りつきました。今後も、持続可能なまちづくりを推進するため、地域経済の活性化、健康・福祉の充実等を重点に、行・財政運営を継続する必要があります。



● **小・中学校施設整備事業**
5億9,372万円

普通教室への冷房設置工事が全て完了し、安全で快適に学校活動を行える施設を提供できました。



● **防災行政無線等整備事業**
3億470万円

守門、入広瀬地域においてデジタル化工事が完了しました。工事の一部は令和2年度へ繰り越しましたが、通信品質の向上が図られました。



議案第66号 令和元年度

一般会計決算



反対討論

◆ 第一に、前年度に比較して職員削減16人、会計年度任用職員(非正規職員)を9人増とした。正規職員を削減し、非正規職員に置き換え、全体として削減する手法は、今後の市民サービスを考えても重大な問題である。

第二に、市民サービスや福祉などは徐々に良くなっているが、基金残高が160億円余りに達し、住民福祉に回せる予算がなくなり、その財源は専ら職員削減など行政改革で生み出された財源が充てられていること。

第三に、不用額が6億5500万円あること。予算編成も見直す必要があると考える。市民福祉や新型コロナウイルス対策など課題は山積している。もっと基金を有効活用し課題解決のための努力を

望む。以上の理由により反対する。

◆ 歳入の弁償収入未済額は、全く実態のない瑕疵担保請求であり、絶対に認められない。また、市の有価物である小型ポンプを議会の議決なしで無償譲渡したことは不当な行政執行であると考え、反対する。

◆ 第一に、高すぎる職員給与費を計上していること。第二に、寒冷手当を廃止しないこと。第三に、一般会計歳入に斎場建設瑕疵担保請求(滞納繰越分)2,709万円が計上しており、それを積極的に回収する努力が見えないこと。第四に、財産管理事業において、小型ポンプ一台を議会に諮らず水沢自治会に対して、無償譲渡したことを理由に反対する。

小型ポンプの無償譲渡については、市の税金で購入した物品はたとえ評価額が少なくても、公

賛成討論

益上の必要がなければ無償譲渡はできない(地方自治法第232条の2)。この公益上の必要性を担保するためには、市長が提案し議会が認めなければならぬ。議会に諮らず実行されたことは、手続き上不備があると考え、この決算の認定には反対する。

◆ これまで実施してきている市内経済の活性化のための施策により、個人市民税及び法人市民税の伸びが見られる。

また、異常少雪の影響により、経営や資金繰りの支援に総額4億円の「魚沼市異常少雪特別対策支援資金融資制度」の創設を早々に行ったこと、幼児教育の無償化等々市民生活に寄り添った施策を行い、市民から喜ばれている。さらに、ふるさと寄附金が大きく伸び、21億円を超え前年比163%増とありがたい結果になっている。

財政運営においても、堅実な運営を行っているとの評価をいただ

いており、令和元年度一般会計決算を不認定にする要素は見当たらず、むしろ前進途上にある今、さらに知恵や工夫で魚沼市を盛り上げて前進させる策を検討していくべきであると考え、賛成する。

◆ 地方交付税と特定財源をしっかりと活用し、地域要望に応えながら地域経済の活性化を図ってきたことが、法人税の増収につながったものと評価する。

しかしながら、予定していた特養の50床増床が実現できなかったことは残念である。令和元年度末の住所地特例制度の対象者は97人あり、年間4億円以上のお金が魚沼市から他県や他市に流れている。地域経済の損失は大きいものと考えられる。

幸いなことに、ふるさと結基金や財政調整基金に余裕があることから、今後の介護人材の育成や優遇制度、特養新設の際の市独自の上乘せ支援などを充実させ、安心して魚沼市に住み続けられるまちづくりの実現に期待して賛成する。



Voice

聞かせて！あなたの声

音声訳の会 × 市議会

地域で活躍する皆さんと、ざっくばらんに語り合うコーナーです。

第3回目は、視覚障害者の方々のために※墨字を音声にして届ける活動をしている「魚沼音声訳の会」の会長山本 昱子さん、目黒千恵子さん、大塚和子さんから活動内容や日頃の思いを聞かせていただきました。

※墨字…点字に対して、書かれたり印刷された文字。



「議会だよりは文字数が多くて読むのが大変なのよ」
写真やグラフを声で表現することも苦労の一つ。利用者の方の情報収集の一助になるように会員が分担しながら録音作業をしているそうです。

構成メンバーや、活動内容を教えてください。

町村合併以前より、旧小出町、堀之内町、湯之谷村に音声訳ボランティアがありましたので、もう30年以上活動は続いています。現在のメンバーは13名、全員女性です。

主な活動内容は、「市報うおぬま」と「議会だより」を音声化して、利用者の方にお届けしています。専用のソフトを用いて、会員それぞれが担当を決めて録音するのですが、誤読のチェッ



利用者の方々へ「声」の情報を届けるために、コツコツと自宅で録音作業。

クや固有名詞の確認等々、正しい情報を伝えるためには編集作業にも手は抜けません。

グラフや表、写真が多用されているページを音声で表現するのも工夫が求められる作業。今年はコロナウイルスの影響で中止となりましたが、例年講習会を開催して会員の技術向上に努めています。

現状の課題やこれからの展望を教えてください。

現在私たちが作成しているCDを利用している方は7名。市内には120名ほど視覚障害を持っている方がいると伺っていますので、ぜひもっと多くの方々からご利用いただきたいと思えます。そのために、もっとPRも必要ですし、会員の高齢化も進んでいますので、若手後継者の育成も課題です。

会員は随時募集していますので、興味のある方はぜひご連絡いただきたいです！また、会では、CDを聞くための専用再生機の貸出しもしていますので、音声訳のCDを聞いてみたいという方はお気軽にお問合せください。

お問い合わせ先

魚沼市社会福祉協議会

☎025-792-8181

市議会に一言！

小さい市だからこそできる施策にぜひ取り組んでもらいたいですね。「無理」「できない」という否定から入らずに、どうしたら実現できるのか、という工夫を皆で考えていけたら、もっと明るい魚沼市になるのではないのでしょうか。

「障害者差別解消法」では、健常者と同等の機会を提供するよう、合理的配慮が求められています。市議会としても、理解を深めてしっかりと対応していきます。

※市HPには、「魚沼音声訳の会」が朗読した市報うおぬま音声版（MP3）が掲載されています。ぜひご視聴ください。

市立小出病院に医療職員宿舎整備を



佐藤 肇

【答】 医療公社から要望があれば検討していく



【問】 コロナ禍の中で、医師・看護師確保はますます困難になってきている。研修医や新人看護師の宿舎を整備し、福利厚生面の拡大を求めたい。また、感染症対応や大災害時の危機管理策の一つとして、宿舎整備は必要と考えるがどうか。

【答】 小出病院には魚沼市近隣から通勤している職員が多いこと、また、研修医の宿泊については小出病院内に宿泊室を確保していることから、医療公社側からは職員宿舎の整備に関する要望は伺っていない。医療公社との協議を進める中で要望があれば検討する。

只見線全線開通に合わせた観光振興策について

【問】 1 只見線を活用した周遊観

光を実現させるためには、早朝と夜の便は欠かせない。JR東日本に対して、早朝の「小出→会津若松」と「会津若松→小出」の直通列車の復活を求めていただきたい。

【答】 1 新潟県鉄道整備促進協議会及び只見線利活用推進協議会等を通じて、沿線自治体と連携を図りながら、必要な要望を進めたい。
2 「自転車活用促進法」に基づく「ナショナルサイクルルート構想」の協議を湯沢町、南魚沼市と共に開始することとしているので、その取組を見守りたい。

【問】 1 総務文教委員会で「細野区への除雪車無償譲渡」について調査し、議会に諮っていないため「公益上の必要は認められない」と結論を出した。市長に自由裁量権はない。しかし市長は前細野区長に「今まで通りやってもらっている」と議会の忠告を無視した発言をした。どういうことか。
2 このことで、市長は「裁判に負ける恐れはない」と言った。原告人を侮辱し、司法を軽視する暴言である。

【答】 1 無償譲渡に関しては、適切な事務手続きを行っているものと認識していることから発言したものである。
2 原告人を侮辱し、司法を軽視した発言ではなく、市は適切な事務処理を行っていることを言いあらわしたものである。

「市民対話の日」の発言を問う



大平 栄治

【答】 適切な事務手続きをしているとの認識から発言したものである



冬季間の雇用確保について問う

【問】 令和3年度に市と市内各スキー場の契約が終了すれば、事業継続は困難となる。直接雇用のほか、宿泊、飲食、交通など地場産業としての裾野は広い。スキー場を失えば取り返しが付かなくなる。引き続き市が関与して存続を図るべきと考えるがどうか。

【答】 スキー場民営化の方針は、平成25年度にスキー場の設置条例の廃止及び令和3年度3月31日までの索道施設等無償貸付契約については、議決を受けたうえでの方針であるため、完全民営化への方針撤回は考えていない。

成人式の対応について問う



星野みゆき

答 人の移動自体が感染リスクを高めることから中止とした



中止になった第16回魚沼市成人式について

学校でのコロナウイルス感染関連の対策について

問 1 感染状況をみながら今後の判断になるかと思うが、旧町村単位での開催や安心して開催されるまで無期限延期はできないか。

2 振袖、袴などレンタルした新成人のキャンセル料を補助すべきではないか。

答 1 新型コロナウイルスの感染状況が収束していない中では、人の移動自体が感染リスクを高めることになること、また、冬季の開催は雪の問題があり、さらにその時点でも収束していない可能性もあることから、今年度の開催は中止とした。

2 個人と業者等との私的な契約であることから、行政としては補助金等の支援は難しい。

問 1 教員の大きな負担になっている感染対策の消毒作業を専門業者に委託する、外部人材に依頼する考えはないか。

2 クラスターが発生した場合などの市独自のマニュアルはあるのか。

答 1 現在のところ委託の予定はないが、今後の感染状況の拡大によつては、委託等も検討する。

2 様々な対応については、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を基本としている。クラスターに特化したマニュアルではないが、集団感染を防ぐために必要な措置、対応、行事への参加等、学校教育課より随時通知を出している。

熊による人身被害の対応策について問う



大桃 俊彦

答 茂みの刈払い、建物の戸締り等の注意点について周知強化する



問 昨年の街場への熊出没・人身被害は記憶に新しい。今年は熊の出没情報が早くから聞かれている。ブナの実が不足し、人里への出没が多いと予想されている。不安や恐怖から市民をどのように守ろうとしているのか。

1 昨年に人身被害まで引き起こした要因は何だと考えるか。

2 人身被害に対する対応策をどのように考えているか。

3 近隣市町村や県との情報交換対応策の検討はしているか。

4 イベント等の中止が相次いでいるが、今後の検討は考えているか。

答 1 餌となる木の実の不足、また、里山がかつてのように整備・管理されなくなったことによる自然界の環境変化も大きな要因と推測する。

2 やぶなどの茂みの刈払いを行

い、熊が市街地へ出没する際の動線上に緩衝帯をつくることで、市街地への出没抑制につながると思われる。また、餌となるものを人家近くに放置しない、建物の戸締りを行う等周知活動をさらに強化したい。

3 近隣の自治体とは、境界付近での出没情報について情報交換をしている。県とは、今年度、鳥獣被害対策支援センターが設置されたこともあり、マニュアルに基づいた訓練を行うこととしている。

4 イベント開催の可否は主催者を中心に検討、判断されるものであるが、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮したうえで、熊の出没が懸念される場所においては、対策を講じていただくことが求められる。

※このほか、「農作物の有害鳥獣被害」について質問しました。

寿和温泉改修の進捗状況について問う



浅井 宏昭

答 着地点が見いだせておらず、改めて地域の皆さんを交えて協議したい



寿和温泉について

問 市は入広瀬の区長会や各団体の代表者に寿和温泉をどのような形で残していくか意見を求めてきたが、現在の進捗状況を問う。

答 管理運営面、費用対効果等の着地点が見いだせていないことから、改めて地域の皆さんを交えて協議したいと考えている。
新型コロナウイルスの集団感染予防について

問 来庁者に対してマスク、手指の消毒のほかに感染予防の方法は考えているか。
答 来庁者に対してはソーシャルディスタンスをお願いするなど引き



続き感染予防及び拡大防止についての行動の周知・促進と注意喚起に努める。

問 選挙の投票所での集団感染予防について市の考えはあるか。

答 いわゆる「3密」を避ける取組として、投票記載台の使用制限等による有権者の間隔の確保及び投票所施設の定期的な換気を実施し、さらに事務従事者のマスク及びフェイスシールドの着用、消毒液の設置、筆記用具の消毒等の実施を考えている。

イベントの開催制限について問う



佐藤 敏雄

答 開催の可否は主催者の判断基準によるものと認識している



問 新型コロナウイルス感染症対策として、市開催等の各種イベントなどで、市内だけの関係者のみで実施される行事の多くも中止され、これを受けて各集落や地域の行事もほぼ中止となっており、昨年の熊騒動以来一年近く活気のない状況が続いている。

答 イベントやスポーツ大会の開催にあたっては、マスク着用等「新しい生活様式」に基づく基本的な感染防止策を講じたうえで、各団体の判断により開催することが基本原則である。

問 感染者の確認がされていない当市は、何を根拠にイベントの開催中止しているのか、どうすれば中止しなくて済むのか、方策を決め、感染防止を図りながら積極的なイベント開催をすべきと思うが、市長の見解を問う。

一方で、東京・大阪などの感染拡大地域では、一定の感染防止策の中で、観客数の制限はあるものの野球やサッカーなどを実施し、近く入場制限の緩和も予定されている。国は、経済の動向も踏まえて、感染防止のための新しい生活様式の徹底を図りながら景気対策に取り組んでいる。
この病気の予防や治癒には、個人の免疫力が一番の効果がある。各種イベントを「新しい生活様式」の中で積極的に開催し経済の活性化を図り、個々の免疫力を図るべきと思うが市長の見解を問う。

答 イベント開催の可否は、必要な感染防止策への対応を含めて、それぞれの主催者が決定するもので、市として判断すべきものではない。
※そのほか、「災害時応援協定について」の質問をしました。

新型コロナウイルス感染症対策でDXの推進を



本田 篤

答 デジタル技術の導入を今後推進していく



新型コロナウイルス感染症について

問 1 インフルエンザワクチン・肺炎球菌ワクチンなどのワクチン確保と、優先度を設けた接種の取組をしていくべきではないか。

2 パンデミック時を想定した病床の確保を考えるべきではないか。

3 DX^{※1}(デジタルトランスフォーメーション)を推進すべきと考えるがどうか。

は、県の役割において主体的に調整することとしているため、医療機関・医師会と連携を図りながら病床の確保に向けて県に協力していきたい。

3 市立小出病院でデジタル技術を活用した遠隔診療の実証実験を行った。デジタル技術の活用は今後の医療体制に欠かせないものと認識している。実施主体となる医療機関において普及が図れるよう、支援の在り方を検討するとともに、新たな技術の導入を今後も推進していきたい。

※1 **DX**(デジタルトランスフォーメーション)
デジタル技術によって事業を抜本的に変革すること。

※そのほか、「子どもたちの生活習慣病予防への取組について」「レスポンスブル・ツーリズムの推進」などについて質問しました。

答 1 補正予算により、市民のインフルエンザ予防接種を促進するため、インフルエンザワクチンの接種助成費用を措置した。今冬は、インフルエンザワクチンの不足が懸念されることから、市内医療機関において必要量が確保できるよう医師会を通じて関係機関への要請を検討したい。

2 病床の確保と防疫体制について

魚沼市でもPCR検査体制を整えないか



大屋 角政

答 県において、保健所単位での設置を進めている



新型コロナウイルス対策で、

問 面的・網羅的に検査を実施することが重要と、日本医師会、厚労省も前向きな考え方になってきている。PCR検査は、幅広く行うことで感染震源地を見つけ感染拡大を防ぐ。市民が今後安心して暮らすため、魚沼市でもPCR検査ができるよう体制を整えて欲しい。そのためにも、国・県に必要な予算や人的体制の確保を働きかけるべきだ。

る。市の独自支援制度は、一自治体で生産調整施策を行うこと自体に無理がある。独自支援制度の見直し・廃止を求めらる。

2 イノシシの農作物被害がこれまでなかった地域で発生している。イノシシ被害対策を早急に講じられたい。

答 県において、PCR検査体制の拡充を図るため、保健所単位での設置を進めている。市でも、必要な予算や人的体制の確保について、市長会を通じて要望している。

答 1 新独自支援制度は、需給調整の仕組みづくりに理解いたいただいで加入を推進している。互助的な支援システムであり、市独自の需給調整を行う有効な手段の一つと考えている。

2 市では、やぶの刈払い、わなの設置、電気柵の導入等を説明したうえで、被害防止をしない場合に生ずる減収と、被害防止策に係る費用と労力、防止しきれずに生じる減収について、農家に情報提供を行っている。

問 1 魚沼市担い手農業経営継続緊急支援事業は、魚沼市新独自支援制度に全加入する等の条件があ

相次いだ入札中止の原因は何か



大桃 聡

答 設計内容に誤りがあり、入札中止が妥当と判断した



問 8月18日に3件、8月24日に1件の入札が中止されたが、その原因は何か。

答 設計内容に誤りがあったことから、入札中止が妥当と判断し、入札を中止した。

問 間違いはあるよりない方が良いが、間違いを見つけた後の対応で差が出る。小手先の言い訳でごまかすようなことはするべきではないと思わないか。

答 入札中止については全くもって遺憾であり、職員の対応についてもあってはならないことだと思っ
ている。しかるべき措置をとりながら、職員には徹底した管理ができるように指示をしたい。

問 災害時の高齢者避難個別計画の作成状況はどうなっているか。

答 個別計画については、地域防災計画において、自治会、企業等の自主防災組織が要支援者名簿に基づき作成することになっている。現状では、自主防災組織ごとに対応が異なっており、統一した書式での計画作成はできていない状況である。
今年度から実施する地域の防災マップや避難計画の作成を支援する自主防災組織活性化モデル事業等により、個別計画作成の促進を図っていく。

※そのほか、「指定避難所におけるトイレの洋式化比率について」の質問をしました。

スキー場事業を教育施策に位置付けよ



大平 恭児

答 スキーだけ取り出して重点施策に位置付けるべきではない



問 市内スキー場は、市内の児童生徒がスキー授業等で利用しているほか、毎冬首都圏から数千人規模で訪れ、スキーや雪遊び体験をしている。スキー場は魚沼市の宝だ。教育の重点施策に位置付けるべきだ。

答 第二次総合計画前期基本計画では「自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進」を主要な施策の一つとして位置付けている。本市においては、スキーもこの「自然や文化の活用」に含まれるものと認識している。スキーだけを取り出して重点施策に位置付けるべきものではないと考える。

問 冬のシーズンは魚沼市にとっても大切である。市民が冬期間豊かに暮らすことを踏まえた長期ビジョンを考えないか。

答 冬期間を豊かに暮らすためには、主に道路除雪をはじめとした生活基盤の維持、季節によって偏りの

ない雇用機会の確保及び雪中花水祝いや百八灯などの雪国ならではの地域の伝統行事が挙げられる。これらについては、市だけではなく商工業者や地元自治会も主体となり取り組んでいる。また、総合計画に基づく取組が長期ビジョンに代わるものと認識している。

問 介護保険料は、各所得段階の保険料率が課税所得600万円と頭打ちである。高所得者優遇で不公平との声もあり、1,000万円に広げている自治体もある。保険料率と共に見直すべきだ。

答 第8期介護保険事業計画の中で、サービス利用見込み量や要介護認定者数の推計等を行ったうえで、介護保険料を設定することとなる。保険料を公平に負担いただくため、賦課算定の所得範囲についても検討していく。なお、保険料階層の第1〜3段階までの方を対象に保険料の軽減を実施している。

保育園民営化は一旦棚上げにすべきだ



高野甲子雄

答 計画で示した方針に沿って慎重に検討し、民営化を進めていく



市の保育事業について問う

問 1 民間運営の保育園に市独自の支援策はとられているか。

2 大きな川に隔てられ、冬の降雪など地形的、気象的条件からみて、これ以上の統合は難しい。民営化計画は一旦棚上げにしてはどうか。

3 保育は「行財政改革事業」の枠外とすべきと考えるがどうか。

答 1 私立幼稚園には運営補助金を、私立保育園には障害児対応のための加配職員の配置や園児送迎車両運行事業への補助金を交付している。

2 市は、第2次及び第3次行政改革大綱や、公共施設再編計画、子ども・子育て支援事業計画において保育園等の再編、民営化について既に方針を示している。今後は移行の時期や対象とする園について慎重に検討し、公立保育園等再編計画を策定

し、再編、民営化を進めていく。

3 私立保育園にも、国の定める公定価格に基づき運営費等を支弁するとともに、市独自の補助金を交付することにより、経営できているものと考えている。民間にできることは民間にとり考えて、今後も多様化する保育ニーズに対応していく。

「弁当作り」で食育推進を図ってはどうか

問 小学5年生の調理実習授業と総合学習とあわせ、「弁当作り」をすることで食育の推進を図ってはどうか。

答 学校教育においては、授業時間の制約もあり、弁当作りに特化した食育を進めることは難しい。弁当作りに限らず、家庭と連携して食育を進めることが重要と考える。

新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立を



星直樹

答 消費喚起促進のための事業を引き続き進めていく



問 感染症対策と経済活動を両立するため、休業要請や外出自粛、移動制限等を最小限とし、経済活動を積極的に推し進めることが必要と思う。経済の再起動には補助金等に頼らない自立した経済活動を軌道に乗せ、倒産や失業などを防ぐことが肝要と考えるが、市長の見解を伺う。

答 現在、地域経済における消費喚起の促進のため実施している「プレミアム付商品券事業」や「サンキューキャンペーン」等、対象者を市内在住者に限定することで、それらの取組が市内経済の潤滑油となることから、感染症対策と経済活動を両立させることができるものと考えており、引き続き取組を進めていく。

市内スキー場の今後について

問 1 有志による「市内のスキ

ー場を考える会」から存続の声が上がっているが、市長の見解を伺う。

2 ふるさと納税に「市内スキー場存続応援隊」を設置してはどうか。

答 1 当該団体からはスキー場存続の要望書を受け取っているところである。スキー場の存続については、7年前に議論が始まり、2年前の延長を決定した際においても、議会の議決を得たうえで現在に至っていることから、今、私の見解を問われるものではないと認識している。

2 ふるさと納税の使途については、ふるさと納税附金条例第6条に基づき規定されている。施設等を特定しての寄附はできないものであり、また、民間事業者に対する内容の寄附については、求めることにはできない。

総務文教委員会報告

1 審査事件（9月15日）

議案第79号

魚沼市職員の特殊勤務手当に関する
条例の一部改正について

議案第80号

魚沼市子どもの医療費助成に関する
条例の一部改正について

問 自己負担がないことで、不急な
受診が増加し、重篤患者の診察が遅
くなるようなことは考えられないか。

答 医師会とも調整している。基本
的に心配しなくていいと考えている。

問 近隣自治体で自己負担額を全額
助成しているところはあるか。

答 県内の市では魚沼市が最初。町
では、阿賀町、出雲崎町が既に実施
している。

問 この改正で、どのくらい予算が
増えるか。

答 1,780万円ほど増額となる
見込みである。

議案第81号

魚沼市ひとり親家庭等の医療費助成

に関する条例の一部改正について

議案第82号

魚沼市ふるさと回帰育英奨学金貸与
条例の制定について

篤志家の方から、将来ある若い世
代のために活用してほしいと7,5
00万円のご寄附をいただいた。こ
の趣旨に叶うよう、貸与型の奨学金
制度を設置するもの。

問 返還免除の条件は、居住のみだ
が、就業は条件になくてよいのか。

答 地元企業の採用状況など想定し
て、居住のみを要件とし、就業につ
いては要件としない。

議案第79号～82号

※原案可決すべきものと決定。

2 現地調査（7月14日）

防災無線不達地域の現状及び指定
避難所の現状を調査するため、向松
川区及び広神体育センターの視察を
行いました。

【視察の総括】

防災無線について

● 防災無線の音達図によると、向松
川区をはじめ、音すら届かない地区
が多くあることが判明し、非常に衝

撃を受けた。今年度に5基立てると
のことだが、遅々として進まない。

今ある設備を改修しながらやってい
くのも一つだが、抜本的に考え方を
変えてやり直す必要もある。

● 何らかの方法で確実に内容を全軒
が受け取れるようなシステム作りが
必要だと感じた。

● 防災ラジオは、地域や個々の家庭
によって入り方が悪く、要望を何年
しても改善されない。解消に向けた
努力が優先課題だ。災害は、いつど
ういう形で起こるか分からない。行
政と住民が密に連絡を取り合い、す

ぐ避難ができる状況を作る必要がある。
避難所について

● 施設の構えとして、ベッド4基・
パーテーション2つ程度では足りな
い。避難所としてすぐ機能できるよ
うな体制が欲しいと感じた。ほかの
用途で使っている場所を避難所にす
ることに加え、これからは避難所そ
のものを建てる必要性について検討
すべきではないか。

● 大沢第二体育館を備蓄場所とし
て、各福祉避難所、指定避難所等に

不足分を配達するとしているが、現
存の公共施設を活用し、より近い施
設に備蓄品を置くことも考えていく
必要がある。計画的に進めていくべき。



市民福祉委員会報告

1 審査事件（9月16日）

議案第83号

魚沼市税条例の一部改正について

問 寄附金の税額控除について、新
型コロナウイルス感染症等の影響に
対応する特例法に定められるイベン
トで魚沼市主催のものはあるか。

答 魚沼市が直接関与する事業はな
いが、後援・共催等の依頼があれば

その都度斟酌^{しんしゃく}して決めることになる。

議案第84号

魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について

議案第85号

魚沼市重度心身障害者医療費助成条例の一部改正について

問 今回の改正は、20歳までと区切られている。20歳以上の方たちの救済について別途検討はしているか。

答 今のところ検討していない。

議案第83号～85号

※原案可決すべきものと決定。

2 調査事件（9月16日）

魚沼市地域公共交通計画の策定について

問 高齢のため、運転免許証を返納する人たちも増えており、公共交通に頼らざるを得ない状況であるが、市民からは使い勝手があまり良くないとの声も聞く。その声にしっかりと応えるような計画になるよう抜本的な見直しが必要と思うがいかがか。

答 地域公共交通協議会の委員には公共交通の利用者である市民の方々や各団体の代表者から入っていた

いている。委員の皆さんからご意見を引き出したり、意向調査アンケートの回答等を参考にしたりしながら、ご指摘の部分が解決できるような方策を考えたい。

3 現地調査（7月15日）

エコプラント魚沼及び特別養護老人ホームうおの園の現地調査を行いました。

エコプラント魚沼では、現地視察

後に、新ごみ処理施設の整備について、エコプラント魚沼の長寿命化計画について意見交換を行いました。

うおの園では、新型コロナウイルスの感染症対策等について意見交換を行いました。

エコプラント魚沼の長寿命化計画の整備について今後も調査継続が必要である。



エコプラント魚沼の長寿命化計画、また新ごみ処理施設の整備について今後も調査継続が必要である。

産業建設委員会報告

1 審査事件（9月17日）

請願第2号

一種苗法一部改正案の撤回を求める請願
（紹介議員に対する質疑）

問 他市議会に同様の請願は出ているのか。審査の様子や結果はどうか。

答 小千谷市では継続審査に、上越市では不採択と聞いている。

本請願は、6月の委員会でも審査した結果、国会でコロナウイルス感染症の関係で先送りとなったことを理由に継続審査としていた。農水省の見解や地元JAの意見など参考に委員の意見聴取を行った。

●優良品種の海外流出防止に効果があり、自家増殖での問題については、地元JA関係者への聞き取りで問題がないと聞いているので採択に反対である。

●今回の改正は、農家を含めて全ての登録品種を無断で使用してはいけないという法律だが、グローバル企

業の種子の独占販売を避けるために、採択に賛成である。

●今回の改正は、新品種の開発者の権利を守るため必要である。また、使用許諾料も少額で影響も少なく、改正は妥当と考える。

※採決の結果、賛成者少数で不採択すべきものと決定。

請願第3号

「魚沼須原スキー場並びに市内スキー場の持続可能な運営を求める請願」（請願代表者に対する質疑）

問 守門地区の方々からの請願であるが、全ての市内スキー場についての請願と認識してよろしいのか。

答 この請願は、守門地域活性化委員会の意思であり、市内全スキー場の総意ではないが、市内からスキー場をなくしたくないという幅広い意味を持たせた請願である。

問 請願者の説明の中で、「全てのスキー場の存続は無理なので、2カ所残したら」との説明があったがどのような考えか。

答 魚沼市の先を見据えた場合、全てのスキー場を持続できるとは私も

思えない。スキー場の価値を客観的なデータで精査して、互いに議論しながら納得したうえで、決断は、市や議会で決めることが一番良いと思う。

(執行部に関する質疑)

問 9月に入って、4スキー場の事業者を集めて意向調査を行っているようだが、その経過はどうか。

答 4つのスキー場事業者と無償譲渡等の条件について協議中で、9月末までに各スキー場の方針を伺うこととなっている。

※1地域からの請願であることと、市とスキー場関係者との協議が整っていないため、今回の請願についてはさらに調査・研究の必要があるとして、継続審査の動議が出され、採決の結果、継続審査となった。

議案第86号

魚沼市工場等誘致条例の一部改正について

問 卸売業を農林水産物販売業に変えることはどういった意味か。

答 過疎地域自立促進特別措置法の法改正で、普通交付税の減収補填の

対象企業が卸売業から農林水産物等販売業に変更になったことから変えるものである。

※原案可決すべきものと決定。

2 調査事件（9月17日）

市内スキー場運営業者との協議について、ふれあい交流センターこまみの事故報告について、執行部から説明を受け、質疑を行った。

3 調査事件（7月9日）

市内スキー場の現状について、執行部から報告を受け、質疑を行った。

**公共施設再編整備
特別委員会報告**

1 調査事件（7月16日）

旧庁舎の現状について

堀之内庁舎、小出庁舎、広神庁舎の現状について説明を受け、質疑した。

問 社会福祉協議会がボランティアセンターから移動する議論は担当課

でどこまでされているのか。

答 具体的な話はまだ進んでいない

ため、答えることはできないが、全体的に、空いている公共施設を有効的に使うことを念頭に置いて検討を進めている。

第2期公共施設再編整備計画について

1期の計画期間が今年度で終わることから、来年度以降の5カ年の第2期計画策定作業を進めている。解体・譲渡等としている施設であっても、再編・複合化等も検討すると、執行部から説明を受け、質疑を行った。

2 調査事件（8月24日）

第2期公共施設再編整備計画について
委員間で各地域の公共施設に関する課題等を出し合い、委員会としての共通認識として確認し、今後調査していくこととした。

議会改革特別委員会

1 調査事件（8月4日）

委員会のインターネット配信映像の検証について

●付託案件を審査する会期中の3常

任委員会に限定して配信してはどうか。
●開かれた議会とするため、全ての委員会を配信すべきではないか。

●ユーチューブによる配信を行うために、ユーチューブで編集された枠内で、画質の解像度や音声出力等々を確認して、実際どのように映るのかという検証をすべき。

●執行部側が答弁する姿が見えるよう、もう一台カメラを用意してはどうか。

※9月定例会における決算審査特別委員会も含めた会期中の委員会の全てを録画し、限定配信としてユーチューブに映像をアップして、その映像を委員会で検証して課題を抽出することとした。

その他、議会の広聴活動の強化のため、改選後の議会における広報広聴委員会の設置について、広報編集特別委員会と共に今後検討を進めることとした。

みなさんからの声を大切に

魚沼市議会 市民の声を聞く会



市民の声を聞く会 ～令和2年議会報告会～

魚沼市議会では、開かれた議会を目指し、「議会報告会」を年2回、予算・決算議会の閉会後に開催しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年5月に予定していた報告会は中止しましたが、県内の新規感染者数が落ち着きを見せていることから、感染症拡大防止の対策を十分とったうえで、8月6日に市役所本庁舎で「市民の声を聞く会（議会報告会）」を開催いたしました。

今回の報告会では、新型コロナウイルス感染症対策に関する支援制度や対策経費等について議会から報告させていただき、その後、参加者の皆さんと意見交換を行いました。いただいた貴重なご意見は、全議員で協議し、今後の市政運営に反映していくよう取り組んでまいります。

たくさんのご意見、 ありがとうございました

介護施設の整備について

市内の介護施設に入れにくい入居待機者が多くいる現状に対して、市は50床増床の計画をしているとのことだが、介護人材の確保が難しく、また、受け入れ事業者も見つからない状況と聞く。この問題に対して、議会の取組が不十分ではないのか。

人材確保は非常に難しい課題で十分な調査が必要です。現在「第8期介護保険事業計画」の策定中なので、議会としても計画策定に関わっていきます。

スキー場の存続について

- 議会として、青少年の健全育成という観点からスキー場の必要性についてどう考えているか。
- スキー場は冬場の市観光産業の中心である。スキー場を核とした地域経済活性化策を策定するなど有効活用を図るべきだ。
- スキー場の運営継続のためには設備の更新工事が必要。市からそのための援助をお願いしたい。

皆さんの意見を踏まえて取り組みたい。産業建設委員会でも調査します。

只見線の活用について

「只見線にみんなで手をふる条例」だけでは地域にお金が落ちない。通過型ではなく滞在型の仕掛けを考え、只見線沿線の活性化に向けた取組を議会でも考えて欲しい。

只見線は魚沼市にとって貴重な観光資源だと認識していますが、それをいかしきれていないことも確かです。議会としても、多くの人に魚沼市の魅力を発信する仕組みづくりを課題と捉え、考えていきます。



8月6日、市役所本庁舎「議会会議室」にて、今年度初めての議会報告会を開催。24人の市民の方から参加いただきました。

10月29日(木)に「市民の声を聞く会（議会報告会）」を開催します。詳しくは最終ページをご覧ください。

自慢できる魚沼

下折立 富永直子さん

「魚沼産コシヒカリはおいしいよ」
バレーボール県大会の時、テレビCM
Mの地元自慢の一言。

昨年は、全国大会で奈良県に行き、
「コシヒカリで有名な魚沼のチーム
です！ お酒も美味しいです！」「雪
もたくさん降ります。温泉もありま
す」とPR。県役員さんや北信越の
役員さんにも覚えてもらい、「魚沼
行ってみようかしら」「この前行っ
てきたのよ」と言っていたくださうれ
しくなる。

自慢できる魚沼。子どもたちと散
歩に行きながら、春の緑、秋のどん
ぐりや紅葉をきれいだねと楽しむ。
夏の暑さや冬の寒さを体感しながら
遊ぶ。子どもたちには様々な魚沼を
体験してもらい、大好きになっても
らいたい。それを手助けできる魚沼
市でいてほしい。



お・も・い!!

大沢 遠藤朝子さん

市民の一人として、今の一歩の関
心事はボランティアセンターの移転
問題である。

社協ってなーに??

「介護福祉士サービス」「支え合い」
「助け合い」「ボランティア情報発信」
「相談対応」などなど。

ボランティアセンターを中心にと
くさんの人々がボランティアに関わ
り、弱者に寄り添い、それぞれの生
活を支えている福祉の拠点。障害者
のためにバリアフリーに設計され、
調理設備も整えられ、福祉のために
設計されている建物。その建物をな
ぜ社協の人たちが出ていかなければ
ならないのか。そして、中央公民館、
シルバー人材センター等の入居が噂
されている。弱者に寄り添い、一生
懸命仕事をしている社協の拠点を
出され、庁舎再編で空いた所を何とか
埋めなきゃ。社協は空き部屋に入
りなさい!! そんな感じに受け止め
られました。

議員さんに問います。福祉とは何
なんでしょか。議員さんだけでは
なく、自分自身にも問います。本当
の心のこもった福祉とは!?
私たちが一人ひとりの問題として、
考えていかなければなりません。

「市民の声を聞く会」を開催します 市民の声を市議会へ！ 第2回議会報告会

魚沼市議会では、新型コロナウイルス感染症
対策に十分留意したうえで、「市民の声を聞く会」
を開催いたします。

市民の皆様から率直なご意見をお聴きし、今
後の議会活動に反映させていただきます。予約
不要ですので、直接会場にお越しください。

日時：10月29日(木)

午後7時～午後8時40分

会場：小出ボランティアセンター
多目的室

感染症対策への協力をお願い

- ※マスクの着用をお願いします。
- ※手指の消毒をお願いします。(会場入口に消毒を設置します)
- ※体調不良の方はご無理なさらずに来場をお控えください。



わが校 自慢

湯之谷中学校では「湯中道」
密を避けても心はひとつ」をス
ローガンに、新しい体育祭の在
り方について話し合いました。
最も迷ったのが、伝統であるパ
ネルを廃止する判断です。残念
な気持ちもありましたが、代わりに地域の方々
に費用を負担していただき、カ
ラーTシャツを作成することに
しました。そのおかげで生徒同
士の団結も、さらには地域の
方々とのつながりも感じるこ
とができました。迷ったけれど、
納得するまで話し合った上での
判断に自信をもち、私たちは前
に進んでいきます。



休憩中にお気に入りのTシャツでバシャリ!

あとがき

10月1日から、政府の
観光支援事業「GOTO
トラベル」に東京都が追
加され、地域共通クーポ
ンの発行も始まり、宿泊
割引35%と地域で使える
商品券15%を合わせると
約半額で旅行ができる
とあって、普段は泊まれな
い高額なホテルの予約が
好調とのことです。

東京からの人の交流が
盛んになることで、全国
に感染者が増えることが
懸念されますが、気を緩
めることなく3密対策と
マスク手洗いの励行で自
分と家族の健康を守りな
がら、少しずつコロナ前
の生活に近づけ日常を取
り戻していくというこ
なのでしょう。

魚沼市の観光業も活気
を呈することを願って
おります。

(渡辺一美)